TAD-M4300
TAD-M2500
POWER AMPLIFIER

OWNER'S MANUAL

「据付工事」について

- 本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。
据付け・取付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。

- 据付け・取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

- 本機は大型で重量が有りますので、持ち運びや開梱、取り付け作業は必ず2人以上で行ってください。

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。	⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して感電や発熱による火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 放熱をよくするため他の機器、壁などから間隔をとってください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→ あおむけや横倒し、逆さまにする。
→ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→ じゅうたんやふとんの上に置く。
→ テーブルクロスなどをかける。

● 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

● 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

● 風呂場・シャワー室などでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（ＤＣ）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

● 電源プラグを抜くときはプラグを持って抜いてください。コードを引っ張っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

● 雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- オーディオ機器、スピーカーなどに機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のケーブルを使用してください。

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

使用方法

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。
D3-4-2-1-7c_Ja

もくじ

安全上のご注意......2

はじめに......6

主な特長......6

お使いになる前に......7

付属品の確認......7

各部の名称とはたらき......7

設置と接続......9

設置......9

接続......10

- プリアンプとの接続......10
- バイアンプ接続......11
- スピーカーシステムの接続......12
- 電源コードの接続......13

演奏するには......14

- 電源を入れる前に......14
- 演奏方法......14
- 保護回路について......14

故障かな？と思ったら......15

仕様......16

保証とアフターサービス......17

- 本機のお手入れ......18

はじめに

所有する喜びと誇り、聴く歓びと感動のために

「TAD」という名称は“Technical Audio Devices”の頭文字から命名されました。
これは、1975 年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時 USA プロオーディオ界の第 1 人者であった故バート・ロカンシーの「基本に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、“綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ”の手法を表現したものです。

自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのものなのです。

この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。
私達は、当社の持つ最高の技術で皆様へ聴く歓びと感動を提供していきたいと考えています。

主な特長

対称性 Duallogic-Circuit Technology

スピーカーの振動版を正確にドライブするためにはボイスコイルを流れる正負の電流経路が完全に対称であることが重要です。回路方式のみならず、構造面などあらゆる部分の対称性にこだわり、完全バランスを目指しています。

振動制御技術 Vibrate-Absorber Technology

約 90 kg のアルミニウムの塊から削り出されたシャーシは素材・構造と相まって、より強固な振動制御を実現しています。また、電源トランスはピンポイント 4 点支持でシャーシに取り付けるなど内部からの振動制御も行うことで、外部・内部からの振動を制御しています。

90 %以上の高効率

90 %以上の D クラス高効率増幅回路を使用することにより、エネルギーのロスを最小限に抑え、低消費電力を実現しています。

大容量電源

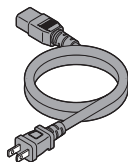
1 kVA の強力電源トランスを 2 基搭載。応答性能に優れ、スピーカーを正確にドライブします。

定格出力　300 W ／4 Ω、500 W ／4 Ω の駆動力

低損失と高速性能を兼ね備えたリードレスパワー FET 出力段はシンプルなシングル出力で、TAD-M4300 は 300 W/4 Ω の 4ch、TAD-M2500 は 500 W/4 Ωの 2ch 出力を無理なく実現しています。

付属品の確認

アクセサリーボックスの中に、以下のものが入っていることを確認してください。

- 電源コード× 1

- オーナーズクラブ登録カード× 1
- 個人情報保護シール× 1
- 保証書× 1
- 取扱説明書 (本書)

各部の名称とはたらき

前面部

1 **電源インジケーター**
電源 (POWER) の状態を示します。
黄色点灯：動作可能状態
赤色点灯：スタンバイ
黄色点滅：起動処理中
赤色点滅：異常状態
電源インジケーターが黄色の点灯から赤色の点滅に変わった時は、保護回路が働いていますので、電源プラグを抜いてください。詳しくは**「保護回路について（14 ページ）」**をお読みください。それでも原因が分からないときは、パイオニアカスタマーサポートセンター TAD 相談窓口にご連絡ください。

2 **電源スイッチ**
電源 (POWER) のオン / オフを行います。

注意

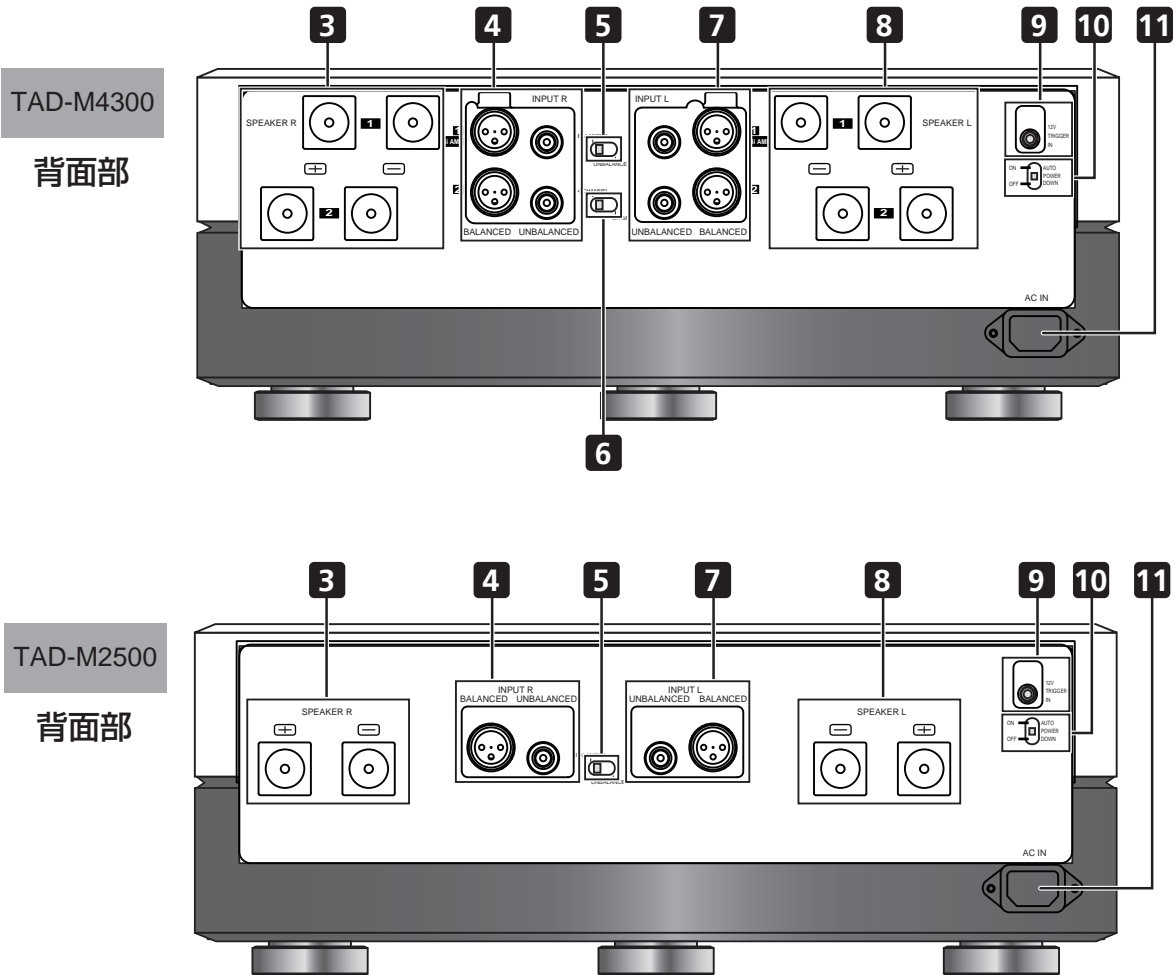
電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。本機を電源コンセント近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くようにしてください。

各部の名称とはたらき

TAD-M4300

背面部

TAD-M2500

背面部

3　**SPEAKER R 端子**
スピーカーインピーダンス４ Ω～ 16 Ωのスピーカーを使用できます。

4　**入力 R(BALANCED/UNBALANCED) 端子**
プリアンプと接続します。

5　**バランス / アンバランス入力端子切換スイッチ**
入力端子を接続するプリアンプの出力端子のタイプに合わせ、バランス（XLR-3-31）かアンバランス（RCA ピンジャック）かを選択できます。

6　**バイアンプ設定スイッチ (TAD-M4300 のみ)**
４つのパワーアンプを２組ずつ使用して、バイアンプ接続をすることができます。

7　**入力 L(BALANCED/UNBALANCED) 端子**
プリアンプと接続します。

8　**SPEAKER L 端子**
スピーカーインピーダンス４ Ω～ 16 Ωのスピーカーを使用できます。

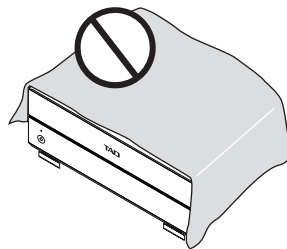
9　**12V トリガー入力端子**
外部機器から電源（POWER）のオン / スタンバイをすることができます。
入力端子：φ 3.5 モノラルミニジャック
動作仕様：スタンバイ中に入力される信号の電圧レベルが L から H になった場合 .... 電源オン
電源オン中に入力される信号の電圧レベルが H から L になった場合 .... スタンバイ
12V トリガー入力に H が入力されている時は、本体の電源スイッチで電源オフができません。

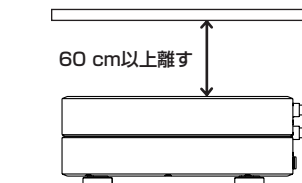
10 **オートパワーダウン設定スイッチ**
ON に設定すると、約３時間で自動的にスタンバイ状態になります。
OFF に設定すると、この機能は無効になります。

11 **AC IN 端子**
付属の電源コードを接続します。

設置

⚠ 警告

- 本機は重量がありますので、持ち運びや開梱、取り付け作業は必ず 2 人以上で行ってください。
- 設置する場所はこの重量に十分耐えられる強度を持つ、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れたりして、事故の原因になります。弊社では、床に設置することをお勧めします。棚などの上に置く場合は、必ず強度の確認を行ってください。
- 放熱のため、本機の上に物を置いたり、布やシートなどをかぶせた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。
- 本製品の設置は 3 本の大きな足で行っております。またそのほかに補足的に 2 つの小さな足があります。この補助足は急激な加重がかかった際に、製品が直接床にぶつかることを防ぐ役割をして、通常は床には接しておりません。

⚠ 注意

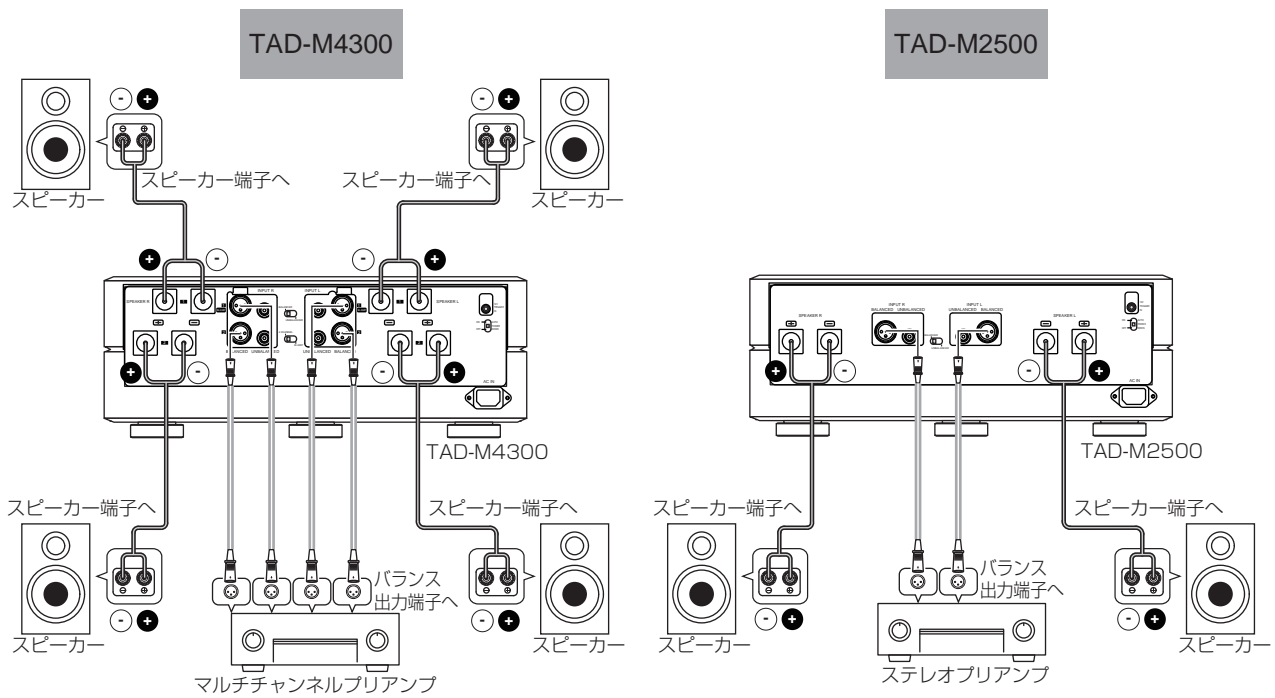
本機を設置する場合は、放熱をよくするために、本機の天面から 60 ｃm以上、背面から 10 ｃm以上、側面から 30 ｃm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

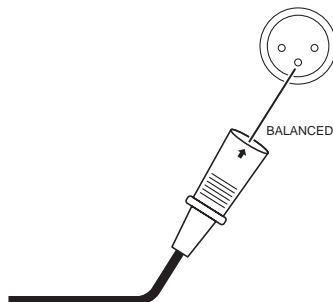
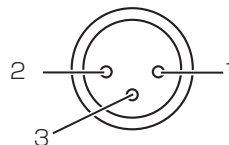
- 本機は発熱量が多いので、じゅうたんやクッションなど、冷却用の空気の流れを妨げる柔らかな物の上に置いたり、狭い場所には置かないでください。

接続

⚠ 注意

● 本機および各コンポーネントの電源スイッチは、接続がすべて終わるまでオンにしないでください。

スピーカーは接続の前に配置しておくことをお勧めします。接続には市販のスピーカーコードをご使用ください。機器の接続を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

プリアンプとの接続

市販のバランス型 XLR プラグ付きケーブルを使用して、本機のバランス入力端子とプリアンプのバランス出力端子を接続します。アンバランス（RCA 端子）で接続する場合は、バランス / アンバランス入力端子切換スイッチをアンバランスにしてください。

TAD-M4300

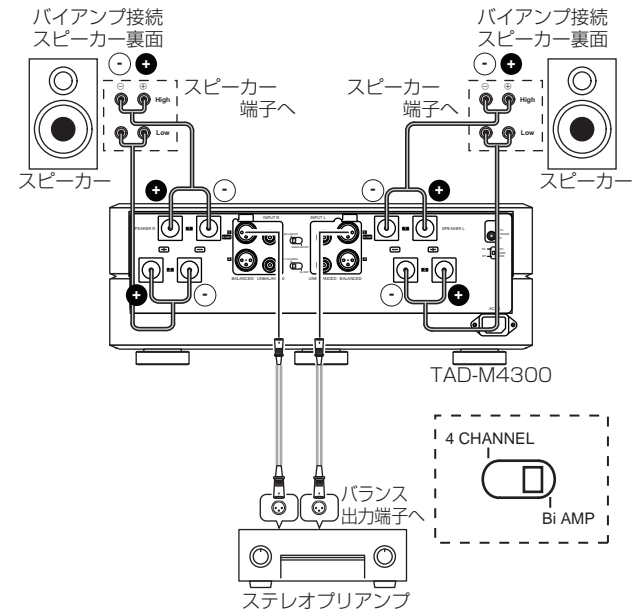
バイアンプ接続

バイアンプ接続は、2 組のアンプとスピーカーコードを使って、スピーカーの低音用入力端子 (Low) および高音用入力端子 (High) に接続する方法です。

- 本機および各コンポーネントの電源スイッチは、接続およびスイッチの切り換えが終わるまで、オンにしないでください。
- 接続するときは、バイアンプ対応スピーカーを接続してください。また、バイアンプ設定スイッチをバイアンプにしてください。
- High と Low は同一の信号が出力されているスピーカー端子の組（SPEAKER L 端子の 1 と 2、および SPEAKER R 端子の 1 と 2）に接続してください。

注意

- 入力 L 端子の 1、入力 R 端子の 1 に接続します。バイアンプ設定時は入力 L 端子の 2、入力 R 端子の 2 からの信号はスピーカーに出力されません。

【バイアンプ接続端子付スピーカーシステムを使った接続例】

メモ（TAD-M4300）

SPEAKER L および R 端子の 1 と 2 からは同じ信号が出力されていますので、High、Low はどちらにでも接続できます。

注意（TAD-M4300）

- スピーカーのバイアンプ接続をするときは、アンプへの悪影響を防ぐため、スピーカーに付属されている High-Low のショート金具は必ず外してください。詳しくは、スピーカーの取扱説明書もご覧ください。

スピーカーシステムの接続

⚠ 注意

- スピーカー端子には、マイナス端子（—）とプラス端子（+）の極性があります。接続時には、本機のスピーカー端子とこれらの極性を必ず合わせて接続してください。
- インピーダンスが 4 Ω〜 16 Ωのスピーカーをご使用ください。
- スピーカーコードは、電流容量の大きなものを使い、緩みやショートのないように確実に接続してください。電流容量の小さな接続コードを使ったり、接続が不完全な場合には、再生音に影響を与えたり、発熱やショートの原因となりますのでご注意ください。
- スピーカーコードを接続するときは、芯線をしっかりねじり、スピーカー端子からはみ出していないことを確認してください。芯線がリアパネルに接触したり、芯線どうしが接触すると、保護回路が働いて電源がオフになることがあります。
- スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、必ず電源コードを抜いてからスピーカーの接続を行ってください。

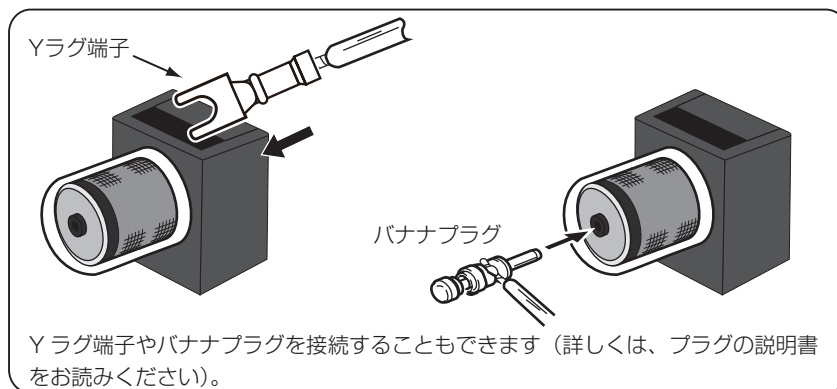
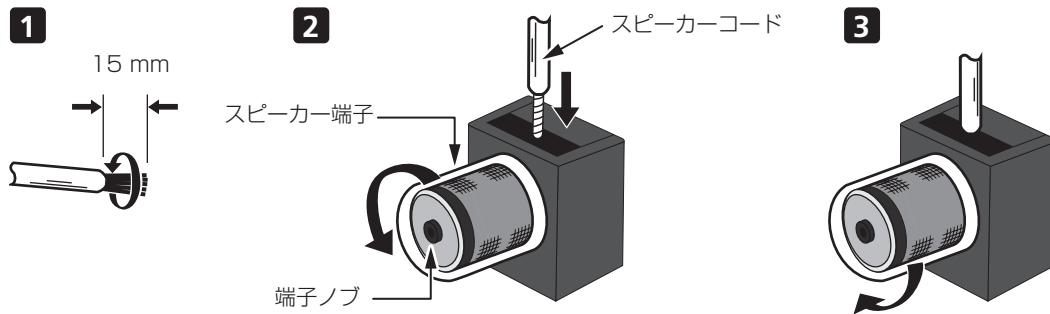
スピーカーシステムのつなぎかた

スピーカー端子のプラス端子（+）と本機のスピーカープラス端子（+）を接続します。
スピーカー端子のマイナス端子（—）と本機のスピーカーマイナス端子（—）を接続します。

スピーカーコードの接続方法

1. **スピーカーコードの外側の被覆を約 15 mm 取り除いてから、中の線をねじり束ねる。**
2. **スピーカー端子ノブを左側（ ）に回して、緩める。**

   端子ノブがスライドし、すきまが開きます。
3. **開いたすきまにスピーカーコードの先端を差し込み、端子ノブを右側（ ）へ回して締めつける。**

Y ラグ端子やバナナプラグを接続することもできます（詳しくは、プラグの説明書をお読みください）。

電源コードの接続

すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100 V）に接続します。

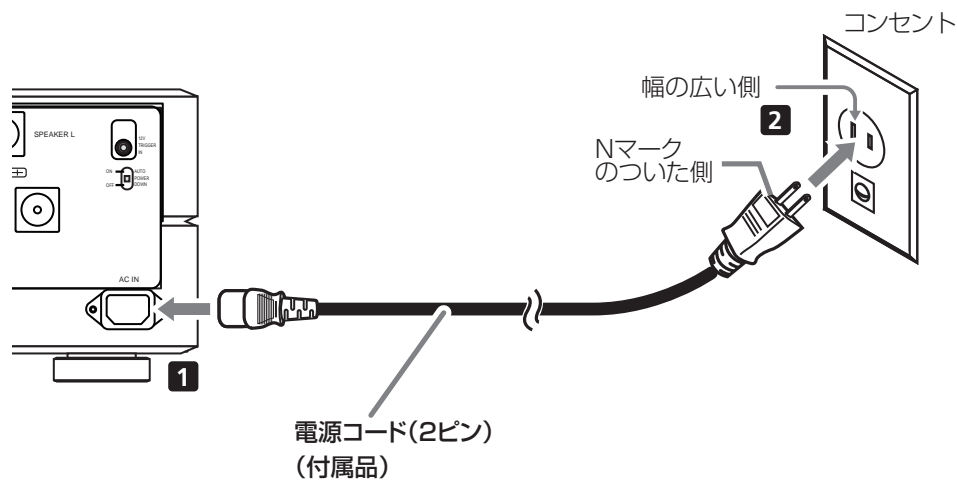
本機の電源コードは極性管理されています。音質向上のため、極性を合わせせることをお勧めします。下図のように電源プラグの N マークのある側を電源コンセントの幅の広い方（アース側）に合わせて差し込んでください。

警 告

- **本機の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード（電流容量 15 A、本機側 2P プラグインソケット方式）以外の電源コードはご使用にならないでください。**

- 電源プラグをコンセントに接続すると、電源インジケーターが赤色で点灯します。電源スイッチをオンすると本機の電源が入ります。この際、8 秒間のミュートを行いインジケーターが黄色に点滅します。黄色の点灯に変わると、本機の演奏準備が完了です。
- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 電源プラグを抜くときは必ず本機の電源スイッチをオフにしてからプラグを抜いてください。

電源コードの接続方法

1. **付属の電源コードを本機の AC IN 端子に接続する。**
2. **壁のコンセント (AC 100 V) に接続する。**

⚠ 注意

● 本機は消費電力が大きいので、十分な容量のある電源コンセントに接続してください。（容量の小さな電源コンセントに接続すると接続部が発熱する危険性があります。）

演奏するには

電源を入れる前に

入力端子、出力端子が確実に接続されていることを確認してください。

演奏方法

1. **プリアンプの音量調整（VOLUME）つまみを最小の位置にする。**
2. **プリアンプの電源スイッチをオンにする。**
3. **本機の電源スイッチをオンにする。**
   黄色の電源インジケーターが約 8 秒間点滅したあと、連続点灯になると本機は動作可能になります。
   プリアンプの音量調整（VOLUME）つまみで、音量を調整します。
4. **演奏を終えるときは、プリアンプの音量調整（VOLUME）つまみを最小にし、プリアンプと本機の電源スイッチをオフにする。**

保護回路について

本機には、アンプやスピーカーの損傷を防ぐため、(自動) 保護回路が内蔵されています。保護回路が働いている間は、電源インジケーターが点滅し、スピーカーからは音が出ません。保護回路が働くのは、次の場合となります。

- **電源投入 (オン) 時**

  起動時の雑音を消すため、ミューティング回路が働き、8 秒間、インジケーターが黄色に点滅します。

- **異常発生時**

  スピーカー端子のショートや過負荷、異常発熱などがあった場合、インジケーターが赤色に点滅し、保護回路が働きます。保護回路は、リセット型です。異常発生により、保護回路が働いた場合は、その原因を取り除いてから、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下を調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外が原因の場合も考えられます。
ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。
以下の項目を調べても症状が直らない場合は、修理をご依頼ください。

症　状	原因と思われること	処　置
電源が入らない。	● 電源プラグが電源コンセントから外れている。	● 電源コンセントにプラグをしっかりと接続する。
	● 本機の AC INLET から電源コードが外れている。	● AC INLET に電源コードをしっかりと接続する。
音が出ない。	● スピーカーコードが端子から外れているか正しく接続されていない。	● スピーカーコードをしっかりと接続する。
	● 端子またはスピーカーコードのプラグが汚れている。	● プラグと端子を清掃する。
	● 電源インジケーターが赤色に点滅している。	● **「保護回路について（14 ページ）」**を参照して原因を取り除く。
	● バランス接続なのに、バランス / アンバランス入力端子切換スイッチがアンバランスになっている。	● バランス / アンバランス入力端子切換スイッチをバランスにする。
	● アンバランス接続なのに、バランス / アンバランス入力端子切換スイッチがバランスになっている。	● バランス / アンバランス入力端子切換スイッチをアンバランスにする。
	● オートパワーダウン設定スイッチが ON になっていて再生の途中で電源が切れる。	● オートパワーダウン機能が不要な場合は設定を OFF にする。
音がおかしい。	● バイアンプ設定スイッチが正しく設定されていない。(TAD-M4300)	● スピーカー接続に合わせて、バイアンプ設定スイッチを設定する。

仕様

■アンプ部

定格出力

TAD-M4300 .... 300 W（JEITA、4チャンネル同時駆動、20 Hz ～ 20 kHz、T.H.D. 1.0 %、4 Ω）

TAD-M2500 .... 500 W（JEITA、2 チャンネル同時駆動、20 Hz ～ 20 kHz、T.H.D. 1.0 %、4 Ω）

定格歪率

TAD-M4300 .... 0.05 %以下（20 Hz ～ 20 kHz、150 W、4 Ω）

TAD-M2500 .... 0.05 %以下（20 Hz ～ 20 kHz、250 W、4 Ω）

SN 比（入力ショート、A ネットワーク） .... 112 dB 以上

周波数特性 .... 5 Hz ～ 50 kHz、－3 dB

利得 (Balance) .... 29.5 dB

入力端子（感度 / インピーダンス）

TAD-M4300 .... 1.16 V/220 kΩ(Balance)
0.58 V/47 kΩ(Unbalance)

TAD-M2500 .... 1.5 V/220 kΩ(Balance)
0.75 V/47 kΩ(Unbalance)

■電源部・その他

電源電圧 .... AC100 V、50 Hz /60 Hz

消費電力

TAD-M4300 .... 300 W

TAD-M2500 .... 250 W

外形寸法（幅 × 高さ × 奥行） .... 440 mm × 170 mm × 467 mm

質量 .... 43 kg

■付属品

電源コード 1

オーナーズクラブ登録カード 1

個人情報保護シール 1

保証書 1

取扱説明書 (本書) 1

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ店名·お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、パイオニア修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に取扱説明書の **「故障かな？と思ったら」（15 ページ）** の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：パワーアンプ
- 型番：TAD-M4300、TAD-M2500
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく具体的に）：
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など付近の目印）：

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両·船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

S26_Ja

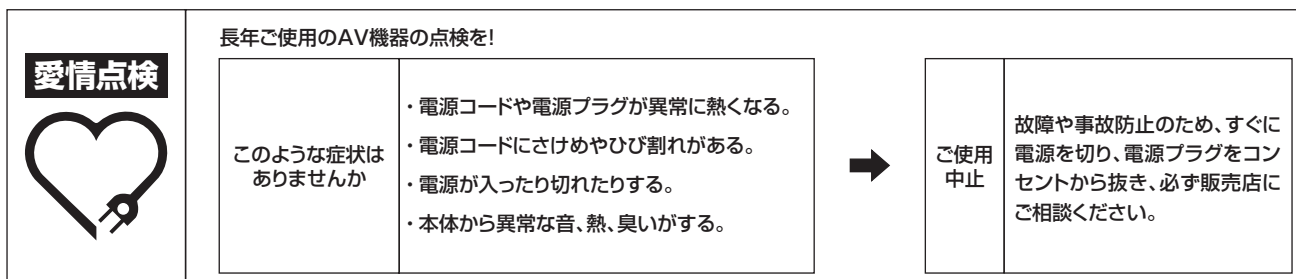
本機を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる所。
- 湿気の多い所や風通しの悪い所。
- 極端に暑い所や寒い所。
- 振動のある所。
- ホコリやタバコの煙の多い所。
- 油煙、蒸気、熱があたる所 (台所など)。

本機のお手入れ

本機の清掃は、お手持ちのポリシングクロスでから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を５～６倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを本機の近くでは使用しないでください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。		ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

パイオニアカスタマーサポートセンター　TAD相談窓口

受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00 （土曜·日曜·祝日·パイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く）
電話	フリーコール 0120–995–823
ファックス	044–572–8103

修理についてのご相談窓口

修理をご依頼される場合は、取扱説明書をご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

パイオニア修理受付窓口

受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 （日曜·祝日·パイオニア修理受付窓口休業日は除く）		
電話	フリーコール	0120–5–81028	※ 携帯電話·PHSなどからは、ご使用になれません。
	一般電話	044–572–8100	※ 携帯電話·PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
ファックス	フリーコール	0120–5–81029	

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、取扱説明書など）のご購入について

パイオニア部品受注センター

受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 （日曜·祝日·パイオニア部品受注センター休業日は除く）		
電話	フリーコール	0120–5–81095	※ 携帯電話·PHSなどからは、ご使用になれません。
	一般電話	0538–43–1161	※ 携帯電話·PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
ファックス	フリーコール	0120–5–81096	

インターネットホームページ

本書以外に下記ホームページもご覧ください。
http://tad-labs.com/support/

平成22年1月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.037